

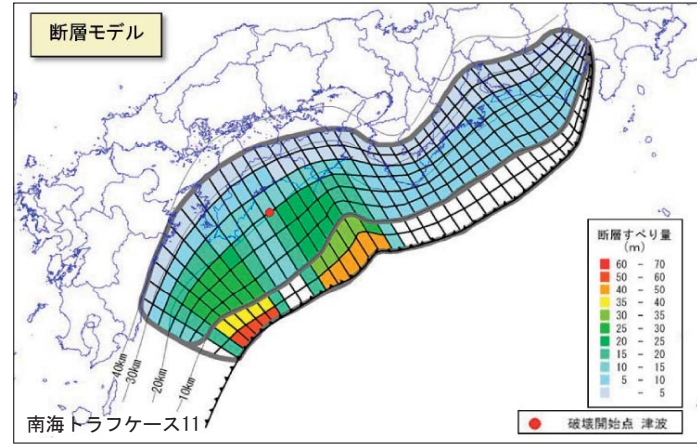
南海トラフの巨大地震の発生に伴う佐伯市への影響

■南海トラフの巨大地震

東南海・南海地震の今後30年間の発生確率は60%～80%といわれています。

さらに、東海地震との連動や日向灘への震源域の拡大を考慮した、最大クラスの地震・津波となる南海トラフの巨大地震(右図「室戸岬沖」と「日向灘」に大すべり域と超大すべり域を2か所設定したケース①「断層モデル」)が発生すれば、佐伯市にも大きな被害が予想されます。

この最大クラスの地震・津波の発生頻度は極めて低いものの、非常に大きな津波が起こりうるということを念頭に置き、「強い地震、あるいは長い時間ゆっくりとした地震が発生したら、逃げる」ということを一人ひとりが認識し、日ごろから備えておくことが必要です。



■佐伯市内の浸水予測調査結果について

この南海トラフの巨大地震(マグニチュード9.1)では、佐伯市で最大震度6強が想定されています。

また、平成25年2月に県が発表した「大分県津波浸水予測調査結果」によると、地震発生にともない佐伯市に押し寄せると予測される最大津波高(満潮時)は、蒲江丸市尾浦で13.50m、米水津浦代浦で12.76m、葛港で7.40mです。

津波の到達時間は、蒲江丸市尾浦が一番早く26分(1m波高)で、最大津波高の13.50mが到達するのは地震発生後34分と想定されています。

○最大震度 6強

※南海トラフの巨大地震モデル検討会H24.8.29内閣府発表

○最大津波高(期望平均満潮位)・津波到達時間

地点名	最大津波高(地殻変動後)	+1m波高到達時間	最大津波高到達時間
上浦蒲戸	5.26	37分	45分
上浦津井	7.41	41分	50分
葛港	7.40	46分	54分
日向泊浦	6.23	40分	49分
鶴見地松浦	6.29	41分	49分
米水津浦代浦	12.76	28分	36分
米水津色利浦	11.46	28分	36分
蒲江新町	11.03	26分	32分
蒲江丸市尾浦	13.50	26分	34分

大分県津波浸水予測調査結果(確定値) H25.2.8大分県発表

■津波ハザードマップを使用する上での注意点

- ①この最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものですので、これよりも大きな津波が発生する可能性もあります。
- ②浸水域や浸水深等は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなる場合があります。
- ③実際これらの地震が発生した場合には、潮位や震源の位置など想定と異なる場合があるため、浸水状況は変わることがあります。

過去の大津波の歴史

■宝永地震 宝永4年10月4日(西暦1707年10月28日)発生 M8.6

佐伯市街地(佐伯市史より抜粋)

- ・宝永4年10月4日から数日にわたって、佐伯地方に大地震あり、倒壊家屋486戸、城下の堤防崩壊15間余、石垣129間
- ・城下に押し込みし波の高さ9尺5寸(約3m)余り、死者22人、牛馬流出26匹、船破損12艘
- ・城下に潮差し込みしこと、昼夜7度なり。

地震調査研究推進本部が公表している発生確率は以下のとおりです。

○南海トラフの海溝型地震

領域または地震名	発生確率(%)		大津波を伴う地震が、約300~400年と約700年の間隔で繰り返し発生したと推定される(直近は1707年の宝永地震)
	30年以内	50年以内	
東南海地震	70%~80%	90%程度 もしくはそれ以上	
南海地震	60%程度	90%程度	

米水津(米水津村誌より抜粋)

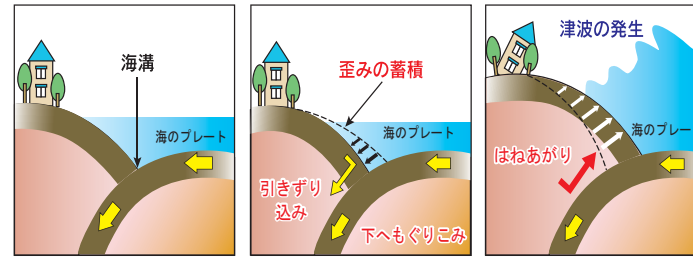
- ・高潮が襲来して、浦代浦は一面湖ようになった。
- ・養福寺まで潮が差しこんだけれども、石壇が二つばかり残った。(海拔11.5m)
- ・色利浦で2人死に、浦代浦で18人死んだ。小浦、竹野浦には死人はなかった。
- ・蒲江、丸市尾は大破損であったが、大嶋より蒲戸の方は破損はなかった。代護浦より霧谷・堅田・木立村までの新地がつぶれたので皆難儀した。

地震について

地震発生メカニズム

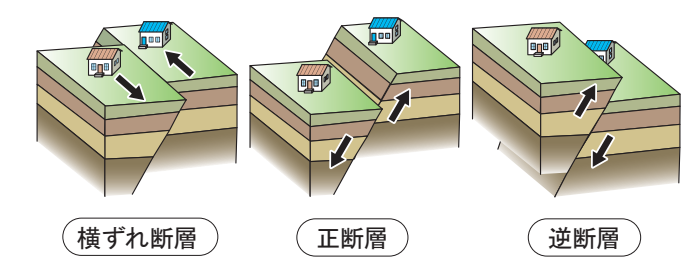
■海溝型地震

太平洋沿岸の海溝沿いに起こる大地震は、海のプレート(太平洋プレートとフィリピン海プレート)が陸のプレート(ユーラシアプレート)の下へ潜り込もうとする力と、陸のプレート(ユーラシアプレート)が引きずり込まれまいと耐えようとする力が限界に達したときに、引きずり込まれた陸のプレートが跳ね上がり発生します。



■直下型地震

内陸あるいは陸に近い海のプレートとプレートがぶつかり合い、その力により活断層がずれて起こる地震と、南関東地域の地層のように、複雑に潜り込んでいる海のプレートの境界やプレート内での地震断層の発生による地震を、直下型地震といいます。断層はずれる方向によって、縦ずれ断層(正断層、逆断層)と横ずれ断層(左ずれ断層、右ずれ断層)に分けられます。



地震の震度 ~こんな現象が起こります~

(気象庁震度階級関連解説表より)

	震度0	●人は揺れを感じない。
	震度1	●屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。
	震度2	●屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。 ●眠っている人の一部が、目を覚ます。
	震度3	●屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。 ●恐怖感を覚える人もいる。
	震度4	●かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。 ●眠っている人のほとんどが、目を覚ます。
	震度5弱	●多くの人が身の安全を図ろうとする。 ●一部の人は、行動に支障を感じる。
	震度5強	●非常な恐怖を感じる。行動に支障を感じる。
	震度6弱	●立っていることが困難になる。
	震度6強	●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山体の崩壊が発生することがある。
	震度7	●揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。